３　刑事について

Ｑ１６　刑事には、どのような能力が必要ですか。

Ａ　刑事は、「犯人を捕まえるために必要なこと」をいつも考え、また、「どのようなことをしたら犯罪になるか」「犯人を捕まえた後の手続」など専門的な知識や法律を知っていることが必要です。

しかし、一番大切なことは、犯罪を許さない正義感と被害者の気持ちが分かる優しさです。

Ｑ１７　刑事のことを「デカ」というのはなぜですか。

Ａ　はっきりとしたことは分かりませんが、明治時代の刑事が着ていた「角袖（カクソデ）」という着物（和服）に由来しているようで、この「カクソデ」の４文字を最初と最後の２文字（カデ）に略して、さらにこの２文字をひっくり返して「デカ」という言葉になったそうです。なぜ、中の２文字を取り除いたり、ひっくり返したかは分かりません。

そのほかに、犯人の家などに行って、証拠品を捜したりすることを「ガサ」といいますが、この言葉ができたのも、「さがす」の「す」を取り除いて、２文字（サガ）をひっくり返したものといわれています。

Ｑ１８　刑事と呼ばれる人は、なぜ制服を着ていないのですか。

Ａ　刑事の仕事は、犯罪を捜査して犯人を捕まえることです。

刑事が制服を着ていると、警察官であることを犯人側に知られてしまい、犯人に逃げられたり、証拠を隠されてしまう可能性があるからです。

Ｑ１９　刑事には、どのようにしたらなれるのですか。

Ａ　交番やパトカーなどで仕事をしている警察官の中から、刑事の仕事に向いていて、刑事になりたいと強く思っている人から選ばれます。

　そして、刑事になるための試験を行い、成績が優秀で、悪いことをした犯人を捕まえることに熱意を持っている人を選びます。

　その後、警察学校で刑事に必要な勉強や、警察署に行って刑事と一緒に仕事をするなど、刑事になるための研修を行い、その研修が終わった人を刑事として採用します。